

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年3月2日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	湘南企業株式会社
所在地	〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通 60 朝日生命横浜ビル 3F
代表者役職・氏名	取締役社長 君塚 直司
担当者連絡先	電話：045-226-5500
	メール：info@shounankigyo.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.shounankigyo.co.jp/index.html

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>1945年に横浜倉庫荷役業組合として発足した当社は、1950年に「湘南企業株式会社」を設立。創業時より港町ヨコハマの港湾物流分野における倉庫荷役業者として社会に貢献してまいりました。長年培ってきた荷役業のノウハウが新たな事業を創出し、現在では食品の流通加工や医薬品などの専門分野を扱うなど会社の発展を支えています。</p>
--

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 ✓社会 □経済	・環境負荷の少ない機器・車両の導入や更新、 およびそれらの適切な保守・点検 ・ソーシャルボンド等の購入	・全業務車両のハイブリッド車等への置換え CO2 排出量前年比 5%削減 自社工場での荷役機器整備率 95%以上維持 ・年度 1 件以上
□環境 ✓社会 ✓経済	安全で働きやすく、やりがいを実感できる職 場の整備と創生	重大労災事故ゼロの継続 時間外管理と産業医制度の活用の継続 生産性向上への取組みと表彰制度等の活用
□環境 ✓社会 ✓経済	人材の確保と育成による、高品質で安定した 荷役を提供するエッセンシャルジョブ基盤 の強化	採用活動の強化と幅広い人材の活用 年度新卒採用 1 名以上 組織横断的な研修等年 1 回以上

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	外部教育機関による社員研修を実施(年1回)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	パワハラ防止規程制定(H28/2)とともに社内に相談窓口を設置、顧問弁護士、社労士を社外窓口として設置、社員アンケート・社員研修を実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	客観的労働時間把握のため勤怠管理システム導入(R4/4)、月中に管理部門から関係部署に状況を通知し、過重労働を防止								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全委員による安全衛生委員会の実施(月1回) 社内安全パトロールの実施			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	産業医を配置 メンタルチェック実施(R5年度)			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	新卒者、女性、障がい者の採用とシニアの活用					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	入社時研修の実施 社歴に合わせた社外研修、eラーニング実施 管理職研修実施				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康診断・人間ドックの実施 福利厚生サービス「ベネフィットステーション」入会 横浜健康経営認証取得(R3/3) 健康経営優良法人認定(R4/4)			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	給料明細をweb明細導入によりペーパーレス化 コピー用紙の再利用、ごみ分別の実施 レジ袋削減のためのエコバッグ配布(R5/1)										11.6	12.4 12.5	14.1					
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	不要照明の消灯、空調温度の管理 社用車のHV化								7.3				13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	規制前のディーゼルフォークリフトの削減(バッテリー、プロパン、クリーンディーゼルに移行) 社用車走行距離表に基づきCO2排出量を把握、管理								7.2 7.3			12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6									15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	社内安全パトロールの実施 顧客との定期ミーティングと合同パトロールの実施 自社修理センターの活用			3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	自社工場での荷役機器整備率95%以上を維持 顧客満足とコンプライアンスの両立を志向し、品質保証部を設置(R5年度)											9						
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4						9	11	12		14	15	17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	ウクライナ緊急支援募金への募金(R4/4) JICA平和構築債購入(R4/7) 神奈川県グリーンボンド購入(R4/10)				4							11			14	15	17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	水道水を利用してバッテリー液を自社で精製 神奈川県産品の積極的利用、活用、購入									8	9		11	12	13			

